



学校教育目標 「自立・協働・創造」

◎「令和5年度卒業証書授与」式無事終了

温かな陽射しの中、本年度の卒業証書授与式を、来賓及び保護者の皆様の参列を得て開催することができ、無事69名の生徒が清水中学校を巣立っていきました。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様よりいただきましたたくさんのご支援に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

< 式辞 >

清水中学校から見渡せる太平洋が春の陽射しに輝き、この高台に吹き上げてくる風に乗って、黒潮の香りが届くようになりました。時折降る雨は冷たくても、それを受けて、新芽を膨らませる木々や草花たちのたくましさ、今、卒業生のみなさんの姿を重ねています。

今日、この佳き日に、土佐清水市教育委員会 斧川教育長様を始めとする来賓の皆様方、そして卒業生のご家族の皆様のご臨席を得て、令和5年度土佐清水市立清水中学校卒業証書授与式を挙げていきますことに、心より御礼申し上げます。

保護者の皆様、お子様の義務教育9年間からのご卒業を心よりお祝い申し上げます。コロナ禍の中で入学し、中学校最終学年進級とともに新型コロナウイルス感染症が5類に移行。学校生活をコロナ禍前の状態に戻していくことにも、3年生には苦勞をかけました。そんな、ある意味、激動の3年間を、お子様の成長を温かく見守り続けながら、ともに乗り越えて来られたことに対し敬意を表します。また、地域の皆様には、いつも子どもたちを見守っていただき、温かいご声援をいただきました。

保護者の皆様、地域の皆様からいただきました本校の教育活動に対するご理解と多くのご支援に対しまして、この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

さて、69名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

清水中学校全職員、そして在校生とともに心よりお祝い申し上げます。

この学び舎を旅立つ日を迎えられたみなさんの姿を見ながら、みなさんとの思い出の日々を振り返ってみますと、身も心も、本当に大きく成長されたなど、感動で胸が熱くなります。

私が出会った頃のみなさんは、コロナ禍の、あらゆる制約がある中で中学校生活を送り、どこか受け身で、様々なことに気を使いながら日々を過ごしているように感じられました。昨年度の文化祭に向けて合唱コンクールのリハーサルをしたときに、この舞台の上で、陰に隠れるようにして立っていた。そんな人もいましたね。歌声も、自信なさげで、本番当日も大丈夫だろうか心配したのを覚えています。それが、今、こんなにもたくましく、堂々とした姿で、下級生を励まし、引っ張ってくれる存在となりました。

9月に行われた体育祭は、「初志貫徹」～人々に勇気と笑顔と感動を～をスローガンに、3年生が中心となって、盛り上げてくれました。このスローガンには、コロナ禍が明け、入場制限がなくなった学校行事で、一生懸命、本気で取り

組む自分たちを見てもらい、家族や地域に笑顔と元気を届けたいという、みなさんの優しさが込められていました。その優しさは、下級生の心にも響き、どちらの色も一致団結して、すばらしい体育祭を創り上げてくれました。先生方に指示されて動くのではなく、3年生が自分たちで考え、仲間と力を合わせて下級生を引っ張ってくれる姿に、胸が熱くなる瞬間がたくさんありました。

そして、10月に行われた文化祭でも、3年生の活躍が光っていましたね。久しぶりの終日開催、そして入場制限もない中で、多くの人に勇気と、笑顔と、感動を届けてくれました。

自分の将来について語った意見発表、自分の中にあるジョン万スピリッツについて見つめた英語弁論、人権課題と向き合い学んだことを投げかけてくれたプレゼン、土佐清水市の未来について真剣に考えた提言、歌やダンスで見る人に元気を与えてくれた自主発表。すべてにおいて、清水中学校の最上級生としての強い意志が輝いていました。何よりも、合唱コンクールでこの体育館に響き渡った歌声は、美しく、力強く、聴く人の心を揺さぶりました。1年前のステージで、俯き加減に、小さな声で歌っていたのが信じられないくらい、堂々と胸を張り、思いを届けてくれました。

そんなみなさんの姿を見て、下級生たちは、清水中学校の生徒として、伝統を受け継ぎ、新たな歴史の1ページを加えるということの素晴らしさを教えてもらったと思います。

思い出を語り尽くすことはできません。

今日、この学び舎を巣立っていくみなさんを送り出す時が、迫ってきています。

これから先、いろいろな出来事が、みなさんを待ち受けていることでしょう。これからみなさんが歩み出そうとしている社会は、日々目まぐるしく進化し、予測不能であると言われていています。グローバル化が進み、答えのない課題に、世界の人々と手を取り合って立ち向かっていかなければならない、そんな社会です。

きっと、うまくいくことばかりでなく、時には高い壁に行く手を阻まれることもあるでしょう。

でも、みなさんなら、きっと大丈夫だと信じています。この清水中学校で培ったジョン万スピリッツを持つみなさんは、あきらめず、挑戦し続ける力を持っている。そして、仲間とともに困難を乗り越えたときの喜びを知っているからです。

みなさんは、決して一人ではありません。みなさんのことを見守り、支えてくれる家族がいます。いつも温かく包んでくれる地域の人たちがいます。社会がどのように変化しようとも、みなさんが創ってくれた清水中学校は、ずっと、ここにあります。

道に迷い、悩み、くじけそうになったとき、そして、自分の原点に立ち返りたいと思ったとき、いつでも帰ってきてください。

最後に、卒業生のみなさんの門出にあたり、今後のますますの成長と活躍を心から願い、式辞といたします。

令和6年3月14日 土佐清水市立清水中学校長 門田 直子